

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

総合計画体系	事務事業名	保育料収納事務			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	合志義浩
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2155
					法令根拠	児童福祉法 合志市保育の実施に関する条例			

予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	3	事業連番	10581	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11	
														コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
・認可保育所の入所児童の保護者から毎月の保育料を速やかに収納する。
・保育料の滞納者へ納入の促進を図る。

【業務の流れ】
収納事務
(1)納付書による収納①毎月の保育料納付書を電算印刷②認可保育所毎に納付書の振分け③毎月保育園に依頼し、園より保護者へ配布④園が保護者より収納⑤園が収納した保育料を指定金融へ納付⑥毎月の納付状況の確認
(2)口座振替による収納

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 保育料滞納者への対応事務 (夜間臨戸訪問、電話催告、資産調査、預貯金の差押)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度に同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	保育所入所世帯	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 延べ入所児童数(広域含む) 人 イ 調件数(現年度分、広域含む) 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	保育料の適正な賦課と確実な収納をはかる	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 入所児童数(広域含む) 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	・安心して仕事ができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 収納率(現年度分) % イ
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 保育所に入所している児童数/保育所の入所を必要とする児童数 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円					38		
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		632	574	382	833	871	
	(A) 事業費計	千円		0	632	574	382	871	871	
	人件費	うち指定経費	千円				0	408	408	
		うち時間外、特殊勤務手当	千円				382	463	463	
		正規職員従事人数	人		9	9	8	9	9	
延べ業務時間		時間		670	1,120	2,010	2,000	2,000		
(B)人件費計	千円		2,660	4,458	4,458	8,000	7,960	7,960		
トータルコスト(A)+(B)	千円		2,660	5,090	5,032	8,382	8,831	8,831		

指標	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
活動指標	人件	15378	16818	17824	17772	18941	20400	20400	目 標 数 計 画 22 年 度
対象指標	人	1385	1499	1551	1542	1622	1740		
成果指標	%	98.9	99.5	99.5	99.4	99.5	99.5		
上位成果指標	%		97.4	100	94.9	95	98		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
保護者が働いていたり、病気の状態にあるなどの理由で、家庭において十分な保育ができない児童がいたため、昭和29年4月1日に旧西合志町に2園保育所を認可、それにとまって保護者側からの保育料を徴収するようになった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
滞納整理事務に関しては、以前に比べ生活能力の高い保護者の未納が増えてきている。保育料については以前より軽減されているが、そういった滞納者が増加している背景には、保護者の保育所制度に対する認識不足が原因のひとつと考えられる。また、近年個人情報保護条例等の制定により、滞納者の情報についても情報共有が難しくなり、滞納の増加へつながっている。さらに、平成19年4月より保育料の口座振替を開始することになったが、近隣市町村の状況を見ても、未納額は大幅な増加が懸念される。経済状況の悪化により、収入が減り、滞納につながる恐れが出ている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
保護者については保育料の軽減の要望がある。
自主財源の確保の観点から、財政部局より滞納整理を強化するように声が上がっている。

事務事業名	保育料収納事務	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 保育料徴収は保育所運営の財源のひとつのため、結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 保育所運営に付随する事務のため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 保育所運営に付随する事務のため妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 滞納整理については税務との連携・統合により、滞納の状況を全体で把握した方が徴収しやすいのではないか？同じ滞納者に業務ごとに徴収に行くよりも効率がいいのではないか？
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 保育所運営に付随する事務のため単独での廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 滞納整理については税務との連携・統合により、滞納の状況を全体で把握した方が徴収しやすいのではないか？同じ滞納者に業務ごとに徴収に行くよりも効率がいいのではないか？
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 滞納整理については税務との連携・統合により、滞納の状況を全体で把握した方が徴収しやすいのではないか？同じ滞納者に業務ごとに徴収に行くよりも効率がいいのではないか？
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 業務ごとの徴収をひとつの課にまとめた方が人件費の節約になるのではないか？
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 国の基準より大幅な軽減をしており、保育所運営費の支弁額と受益者の負担額を比較した場合、保育料が安すぎるのではないか？保護者の家計の状況を見ながら見直しの検討が必要ではないか？

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。 滞納整理に関しては、対象者の滞納している業務が重複している場合も多いため、他課との連携や統合による効率向上ができるのではない

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 全事業の滞納徴収体制の整備(協力体制を整えるなど) 保育料の見直し	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下						
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
成果	向上																						
	維持																						
低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)